

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日：2024年 5月 1日

事業所名：after-school program るくーる

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	法令に遵守したスペースを確保している。学習ルーム・プレイルームをスライド扉で仕切ることができる。	「はい」の評価が大半で見学時に「広いですね」と評価していただけることが多い	TEACCHプログラムに基づき「何をする場所か？」をわかりやすく構造化して行きます
	2 職員の適切な配置	法令に定められた配置に加え、児童数が多い日には指導員を増員している。	「はい」の評価が大半だが、一部「わからない」の回答あり	今後も支援者のみならず、実習生の育成、受け入れを積極的に実施していきます
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	完全なバリアフリーではないが、安全面に配慮した設備整備を実施している。	「はい」の評価のみ	TEACCHプログラムに基づき「何をする場所か？」をわかりやすく構造化し過ごしやすい環境づくりを実現します
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	日々の清掃にアルコール消毒を用いて細目に清潔を保つよう心掛けている。	「はい」の評価のみ	現在の環境、意識を維持継続していきます
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎日の始業前のミーティングと業務終了後にその日の支援内容での気づきを情報共有している。	/	日々の業務での改善点を共有し、職員全員で改善策会議で解決を目指します。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現在は利用者・社内での評価のみ今後検討している。		事業所連絡会を有効に意見交換を試みます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	希望する研修はもちろん、社内でも必要と考える研修には参加を依頼、実施済。		現在までもオンライン講習を多用してきたが、変わらず資質向上を目指します。
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	モニタリング会議には全職員が出席し、より多くの支援者の目で意見を出し合い、一人一人に合った個別支援計画書を作成している。	「はい」の評価が大半だが、一部「わからない」の回答あり	就業しているご家族様、遠方にお住いのご利用者様が多く、面談を主にオンラインで行っている。事業所内での様子を見ていただく機会を持つ企画も検討中です。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	モニタリング会議はもちろん日々の支援の中で気が付いたことを職員全員で話し合い、意見をモニタリング会議に反映させている。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	支援内容は日々のケース記録に記載。ケース記録を基にモニタリング会議を実施し、個別支援計画書に反映している。		
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	一人につき長期目標(1年)、短期目標(6か月)2つを設定し、スモールステップから成長につなげられる個別支援計画を作成し、支援の実施を行っている。	「はい」の評価が大半だが、一部「わからない」の回答あり	職員全員が利用者様全員のケース記録を行い、より多くの支援者の目で支援します。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	常勤、非常勤に関わらず職員全員がプログラムを担当している。また立案・手法・アイデアは全員でミーティングして決定している。	「はい」の評価のみ	新しいプログラムをスタッフ全員で企画しています。外部講師を招いての特別企画も多く取り入れています。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	毎週土曜日には食育プログラムを実施。長期休暇には毎日少しずつ続けることに意義のある「ラジオ体操」「ぬり絵コンテストへの参加」などに取り組んでいる。		長時間・継続を有効に使うプログラム構成を企画しています。外部訪問も企画しています。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	季節・気候に合わせたプログラム作成に努めている。		スタッフの経験、特技、外部見聞など様々な情報を基に新たな企画立案に今後も努めていきます。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	始業開始前に必ずミーティングを実施。その日の利用者情報の共有、送迎、個別支援内容、プログラム内容、担当者、運転手の確認を実施。		今後も引き続き実施します。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後にケース記録にて詳細内容の共有化を実施。更に詳細の情報共有が必要な場合は管理者が統括して情報共有を実施。		今後も引き続き実施します。
	10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	基本的にはその日の支援内容はその日のうちにケース記録としてまとめ報告を実施している。		今後も引き続き実施します。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	期間ごとに支援者全員でのモニタリング会議を行い個別支援計画を作成している。		モニタリング会議は今まで同様全スタッフで行い、支援内容・支援方法の統一を行います。
1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	機会がなかった為、現在まで不参加。 機会があれば積極的に参加する意向。		積極的に参加します。
2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	てんかんのある児童に関しては、発作発症時の対応方法についてご家族様との情報共有ができており、さらに看護師職員による発作時の対応について事業所内で研修済		
4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	保育園とは送迎時に都度連絡、情報共有を実施済。		今後は園との担当者会議の実施に向け準備中。
5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	来春卒所者が出るが、進学を希望している為、進学についてのサポートを実施中		卒所時に支援の継続ができるサポートブック等の作成を検討中
6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	直接の連携は未実施だが、つながりを持つために積極的に研修等に参加している		直接の連携は未実施。今後積極的に連携の機会を持てるよう検討中。
7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	地域との連携は未実施だが、現在検討中 他事業所との交流も今後検討して行きたい	「いいえ」と「わからない」の評価	利用者の通園する保育所との連携を企画中

関係機関との連携

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域との連携は未実施	「いいえ」と「わからない」の評価	近隣の利用者様が多く、通所していることを公表できない方も多いため、今後ご招待はしません。
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	運営規定、利用者負担、プログラム内容は契約時に説明済み。 ご理解を頂いたうえで契約している。	「はい」の評価が大半だが、一部「わからない」の回答あり	「わからない」の評価の方には個別にご説明し、全てのご利用者様にご理解を得ます。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	運営規定、利用者負担、プログラム内容は契約時に説明済み。 ご理解を頂いたうえで契約している。	「はい」の評価が大半だが、一部「わからない」の回答あり	「わからない」の評価の方には個別にご説明し、全てのご利用者様にご理解を得ます。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	現時点では未実施。 今後検討中	「いいえ」と「わからない」の評価	現時点で検討中の企画があります。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳、送迎時、必要な時は電話、公式ラインを使用して連絡を取り共有に努めている	「はい」の評価が大半だが、一部「わからない」の回答あり	「わからない」の評価の方には個別にご説明し、全てのご利用者様にご理解を得ます。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	モニタリング時、連絡帳、送迎時、必要な時は電話、公式ラインを使用して今後の支援、対応について話している	「はい」の評価が大半だが、一部「わからない」の回答あり	「わからない」の評価の方には個別にご説明し、全てのご利用者様にご理解を得ます。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	現時点で未実施 今後検討中	「いいえ」と「わからない」の評価	現時点で検討中の企画があります。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	相談があった際には、適任者を選定し迅速に対応している	「はい」の評価が大半だが、一部「わからない」の回答あり	今後も相談があった際には、適任者を選定し迅速に対応していきます。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	合理的配慮に努め、ニーズに合った伝達方法を実施している	「はい」の評価が大半だが、一部「わからない」の回答あり	「わからない」の評価の方には個別にご説明し、全てのご利用者様にご理解を得ます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	いつでも情報を確認できるように公式ラインを用いて発信している	「はい」の評価のみ	今後もより多くの情報発信に努めます。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報の取り扱いには充分配慮し、職務に携わるもの全員に秘密情報保持に関する誓約書に署名実施している	「はい」の評価のみ	個人情報の取り扱いには引き続き充分配慮します。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルを作成し、年に一回以上全員で研修を実施済み	「はい」の評価のみ	今後も引き続き実施します。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年に2回以上、児童と一緒に避難訓練を実施している	「はい」の評価のみ	今後も引き続き実施します。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	年に2回以上、事業所内で研修を実施し職員全員で該当するケースはなかったか振り返りを実施		今後も引き続き実施します。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現時点で身体拘束に該当する事案なし		現時点で身体拘束に該当する事案がなく、引き続き注意して支援します。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時に必ず確認しているが医師からの指示書は現時点で出していない		ご相談、指示書の提示があった場合は看護師を中心に適切な対応を行います。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット事案が発生した場合、速やかに記載し、対応策を考え共有している。		今後も引き続き対応、共有します。